

1, 目的

一部：旗持ち地蔵（小山田信茂公胴塚）祭りへの参加

2, 緒項

日 時：令和6年2月26日 16:00~16:50

場 所：矢崎ぶどう園

参加者：矢崎ご夫妻

松本相談役、小俣会長、武田様、溝口様、折笠様、平井様、九城様、島崎（記）

3, 内容

(1) 旗持ち地蔵、小山田信茂公胴塚参り

2月26日の旗持ち地蔵のお祭りに、小山田信茂公顕彰会で初めての参加なのでご挨拶。
長らく小山田信茂公胴塚をお守りして頂いたことについてお礼を言った。

*秋のバス旅行で何度かお参りに来ていたが、コロナ禍でお参りに来ていなかった。



写真：挨拶 1



写真：挨拶 2



写真：挨拶 3 矢崎ご夫妻



写真：胴塚お参り 1

胴塚の石塔は割れていて2箇所セメントで補修されています。
以前小山田のぶたか様（茨城県）が、リムジンで来られたそうです。
榎木は胴塚が造られたときに植えられたとのこと。



写真：胴塚お参り 2



写真：榎木（胴塚と共に成長）

(2) 矢崎様のお話

先祖から代々「旗持ち地蔵」としてお守りし、2月26日お祭りをするように伝えられてきた。以前は近在の子ども達にお菓子を配ったり、大人達が無人のように集まってお酒を飲み交わしていた。

昭和の頃研究者が、小山田信茂公のお墓を探して、何年も善光寺南側を探索したが見つからず、北側のこの旗持ち地蔵が信茂公の胴塚であることが分かった。

【ご夫妻のおもてなし】

お供え物を戴きました。

巻き寿司：干瓢ではなく、芋の蔓

赤飯　　：小豆ではなく、甘納豆入。（山梨では多いそうです）

よもぎ餅：餡も手作り、美味しかったです。

その他　：お酒（運転しない4名献杯）・お菓子



写真：ご夫妻のおもてなし

(3) 善光寺の森の鎧塚

昭和 38 年の看板があるが判読できない状態。

190 年前に鎧の取り扱いで問題が起きたので、善光寺でお経を上げてもらい鎧塚で祀ったところ問題が起きなくなったそうです。

思議な話「昔大きな山崩れがあったそうですが、鎧塚のところは崩れず両側は崩れたそうです。」

鎧塚は別の家でお守りしていたが、引っ越されたので矢崎家でお守りしているそうです。

この付近一帯は善光寺の寺領で、矢崎家も善光寺の関係の仕事のために移って来て住み着いたそうです。